

とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

2019.8 No.44

CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 通常総会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズプラスチック業界：提言
- 7 シリーズ海外経済・世情
- 9 総務委員会レポート
- 11 技術委員会レポート
- 12 会員広場
- 13 会員交流：つどいの場
- 15 会員企業による景況調査
- 17 プラスチック関連データ
- 18 共 創

～ 循環型社会への新たな適合・展開 ～

無限の可能性を秘めた 『プラスチック』とともに

富山県プラスチック工業会

会 長 八十島 清 吉



この度、5月27日に富山第一ホテルで開催されました当工業会の第58回通常総会におきまして、新たに会長に選任されました八十島 清吉でございます。

まずもって、今日まで2期4年間の会長職を務められました高田前会長に、心から敬意と感謝を申し上げますとともに、高田前会長のあとを引き継ぎ、副会長および役員の皆様方のご支援のもと、近年において60周年となる長い歴史を有する当工業会の会長職を全うする所存であり、よろしくお願い申し上げます。

ご存知の通り高田前会長のお考えといたしまして、より多くの企業が会長企業として参画いただくことで、当工業会の更なる活性化にもつながるとの強い信念のもと、会長企業と事務局長の負担軽減に向け、委員会運営改善や理事以上の会費変更等の負担軽減対策の計画立案等にもご尽力いただきました。

その経緯から、私がこの計画を実行する最初の会長職を務めるという不安もございますが、しかしながら、総会終了後、最初の会長業務というべき業界功労者と優良従業員表彰者、計32名の表彰状の授与を通じて、対象の皆様方の不断の努力が、それぞれの会社の発展とプラスチック工業会の発展、ひいては富山県の「ものづくり産業」の飛躍・発展にも繋がっていることを実感し、会長としての重責を改めて認識しつつ、その遂行に邁進する覚悟を新たにしました次第でございます。

さて、当工業会はプラスチック原料による製品製造の企業を中心に、産業機械、原料、金型、販売等の関連企業の皆様を含めた86社の会員企業で構成されていますが、現在企業を取り巻く環境はVUCAの時代（Volatility 不安定、Uncertainty 不確実、Complexity 複雑性、Ambiguity 曖昧性）とも言われ、今後ますます何が起るのか先も読めず、過去の成功事例も通用しない大変化の時代を生き残るには、ダーウィン

の言葉とされる「強いものでも賢いものでもなく“変化できるもの”だけが生き残るのである」という言葉が改めて想起されます。その観点からも、特にプラスチック業界において近年問題となっているプラスチック資源循環体制の構築に向けた活動に注力することはもとより、世間で言う脱プラスチックという短絡的な言葉に流されることなく、循環型社会に適合した素材開発や化石資源からの脱却等も視野に、新たなプラスチックの素材開発等にも注視し、更なる用途開発も含めて、今後とも限りないプラスチックの可能性を追求する動きは一層高まることも指摘されており、当工業会におきましても細心の注視をもって継続対処していくことが重要であると考えております。またその一方で、プラスチック産業に限らない共通課題として、第4次産業革命としてのAI、IoT、ロボット工学等の対応をはじめ、喫緊の課題としての働き方改革や健康経営等、種々の経営課題にも優先順位を見極めつつ対処していく必要があります。

今後とも、富山県のプラスチック業界の発展に向けては、産・学・官の連携推進はもとより、他業界との異業種交流や新たな連携体制の構築、更にはこれらの相乗効果による開発速度の向上や成果等も期待されており、その“橋渡し”の役目を的確に果たしていくことも当工業会の重要な役割の一つであると考えます。

このほかプラスチック工業会の継続的な事業として、研修・講習会の開催、情報発信、組織力の強化、技術の啓発、経営の啓蒙、人材育成、押出技能の育成、視察研修事業等、多岐にわたっていますが、これらのベースとなる計画を確実に実施することが会員企業の皆様方の寄与に繋がることを確信しつつ、改めて当工業会の運営にご理解とご協力をお願いする次第でございます。

末筆になりますが、会員企業の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げて、この度の会長就任のご挨拶といたします。

2019年度 第58回 通常総会開催

◇ 通常総会

今年度の通常総会が5月27日(月)午後3時から富山第一ホテルにて開催されました。はじめに高田会長より開会の挨拶があり、議長に高田会長を選出して議案審議に入りました。

役員改選(案)の承認により、新会長として八十島会長が就任され、議長は八十島会長に交代して議案審議が継続されました。

第1号議案 平成30年度事業報告の件

第2号議案 平成30年度収支決算報告・監査報告の件

第3号議案 役員改選(案)の件

第4号議案 2019年度事業計画(案)の件

第5号議案 2019年度収支予算(案)の件

報告事項

議案は全て原案どおり可決承認され、総会を終了しました。



総会

◇ 記念講演

本年度の総会記念講演は、全国健康保険協会 富山支部長 松井泰治様から「健康経営の推進について」～その背景と富山県における課題～の演題にてご講演いただきました。

講演内容は、「日本の医療保険制度の現状と課題」、「富山県地域医療構想、医療費適正化計画」、「富山県における健康課題と協会けんぽにおける保険事業」、「健康経営、とやま健康企業宣言」について熱く語られました。



記念講演

◇ 懇親会

講演に引き続き懇親会が開催され、八十島会長の開会挨拶の後、今回で退任された高田前会長に当会の発展に貢献された功労への感謝の気持ちとして花束が贈呈されました。続いて富山県商工労働部 荻野次長に乾杯のご発声をいただき、歓談に移り各テーブルで和やかに相互の親睦を深めました。



懇親会



八十島新会長と高田前会長

全員が常に問題意識を持ち、会社の将来に大きな夢を描き、 CS(顧客満足度)No.1企業を目指そう

【インタビュアー：会報編集委員
(株)タカギセイコー 谷田 雄彦氏】

1. 創業の経緯と社業・社歴をご紹介ください。

当社は、大正4年の創業（太平木工株式会社を大正13年に設立）から数えると、創業104年になり、木製玩具の製造から始まりました。その後、木製撚糸ポビンを製造し、昭和14年に合成樹脂製品の製造を開始しました。戦時中は、飛行機の燃料タンクやグライダーを木製で作りました。戦後、プラスチック製ポビンの製造を開始し、プラスチック製品の売上げが全体の半分近くまで増えたこともあり、昭和46年に太平株式会社に社名変更しました。

昭和48年には、資本金を増資して新工場を建設しました。しかし、オイルショックのためリストラをしなければならなくなりましたが、昭和50年から炭素繊維複合樹脂（タイカグライト）で機械部品の製造を開始しました。平成7年には、FRP製タンクの製造を開始しています。それから、FRP製コア・ローラも製造し、フィルムなどの巻き取りコアとして使用されています。

私が社長に就任して直ぐに木工事業の方は整理して止めました。先期は、事務所棟を増築し記念配当もすることができました。

2. 貴社の企業理念と、これまでの経営面で特に印象に残っていることをお聞かせ下さい。

これまでの経営面では、オイルショック後の不況が、会社として一番大変な時期でした。

会社の経営方針は、毎年変える企業もありますが、私はこの10数年変えていません。自分で作って気に入っています。（表題が、太平様様の経営方針－基本理念です）

太平株式会社
代表取締役社長 石崎 直樹 氏

「夢を持って」と言っていますが、現状に問題意識がないと夢も持てないと言う事です。

この事務所に飾ってある書は、「初心」と書いてあるのです。これは、100年の歴史にアグラをかかず、もう一度「初心」に戻るとの思いで、知人から譲ってもらいました。



3. 貴社の強みはなんでしょう。

他社がやらないようなインサートがあって自動化が出来にくい製品や、少ロットの製品製造に比べられる点が当社の強みです。

また、私が社長になってから、FRP製品とタイカグライト（太平ブランドの炭素繊維複合樹脂）で機械関係や電力関係などの幅広い顧客を持ち、特定の顧客や製品に偏らないという経営方針を変えずにいます。

4. 人材確保や人材育成はどのようにされていますか。

まず、私の方針として、当社では外国人人材は使っておりません。使うのであれば海外に進出したらいいと思っています。

人材確保は、ここ数年は毎年3～4人の新卒採用ができております。今年は障害者の採用もしました。

当社の仕事は、手作業が多いので、忙しくな

創造力と先進性を、豊かな文明のために



株式会社 碓井製作所

〒930-0357 中新川郡上市町正印3の1
TEL (076) 472-4605
FAX (076) 472-2908



高陵プラスチック工業株式会社

〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
TEL (0766) 63-5656(代)
FAX (0766) 63-5658

ると人員を確保することが最重要になります。今は電力関係の仕事等で忙しいのですが、当社OB（OG）にも声を掛け、孫守りが終わった世代の人が数名フルタイムで働いて活躍しています。人件費も外国人人材と同程度です。他にも、中途退社した元社員に上司が声を掛けて再入社してくれるなど、お陰様で色々な方面から人の確保ができています。

5. 人材育成や、従業員の方に望まれること、伝えたいことは何でしょうか。

従業員に望むことは、方針に書いてあります。常に問題意識をもつこと。そして、「夢」と言うのは、全員が会社をこうしたいと言うような大きな夢を持たなくてもいいのです。「もっと多く給料やボーナスが欲しい」でもいいのです。そのためには、もっと会社が儲からなければならぬ。儲けるためには、生産性を向上させなければならない。そのために自分は何をするのか・・・その様に考えてほしいのです。

お恥ずかしい話ですが、去年、事務所棟と工場を建設しましたが、「工場は綺麗になったが、生産性も品質も何一つ変わっていないじゃないか」と従業員に言っています。



6. 今後の展望についてお聞かせください。

昔聞いた話ですが、当社がプラスチック製品（フェノール樹脂で）を手がけたのは、日本で3番目だそうです。但し、戦前に何を作っていたのか具体的な製品はよく判っていません。戦後はポピンを手がけています。高岡から砺波方面で100年企業は、数少ないでしょう。そう言う意味でも、当社は顧客の要求に応じていき、CS（顧客満足度）No.1の企業を目指して、これからも生き残っていかなければならないと思っています。

7. 座右の銘や愛読書、ご趣味についてお聞かせください。

私は読書が好きで、最近図書館で色々なジャンルの本を借りて、就寝前や朝に読んでいま

す。座右の銘は、「誠（誠実）」です。兎に角、お客様に対しても従業員に対しても、真心で接する事です。

また先日、経営者協会のインタビューでも話しましたが、「過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる。」（精神科医 エリック・バーン）と言う、本で読んだ好きな言葉があります。

これを読んだときに良い言葉だなあと感銘を受け、朝礼でも話しました。この言葉の過去や他人に囚われず、自分を変えて未来を目指すと言う意味は、経営方針とも重なってきます。

私は、血液型がO型で典型的な楽道家です。従業員には何時も「儲かっても、儲からなくても、社長がニコニコしている方が、いつも渋い顔をしているよりいいだろ。」と言っています。

【インタビュー後書き】

今年で創業104年を迎えられる老舗企業。木製品の展示から、その歴史を肌で感じ取ることができました。独自材料の開発からオイルショックを乗り越え、他社がやらないニッチな製品に取り組みまれ、新製品の開発に注力されています。また、昨今の人材難の時代において、石崎社長のおおらかな人柄が経営方針と共に従業員に浸透し、人材育成にも大きく生かされていると感じました。今後ますますのご健勝とご発展を祈念申し上げます。



石崎社長とインタビュー
石崎社長(右)インタビュー(左)
中央の書が「初心」

【会社概要】

太平株式会社
設立：1924（大正13）年1月
所在地：南砺市福光737
資本金：3億円
事業内容

- ・工業用プラスチック製品の製造
 - ・CFRP・GFRPなど高機能部品の製造
- 代表者：代表取締役社長 石崎 直樹 氏
（富山県プラスチック工業会 副会長）

SAITO

Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 齊藤製作所

富山県富山市下大久保61 〒939-2251
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

三光合成株式会社

SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925
<http://www.sankogosei.co.jp/>

射出成形を想う

佐藤功技術事務所

所長 佐藤 功氏

射出成形最初の特許⁽¹⁾が公開されたのは1872年だそう。以来連綿と改良が加えられ、もうやることはないと言われることがある。本当だろうか。私はまだ改良すべきことは多いと思っている⁽²⁾。一方、昨今の技術革新によって、かつて不可能だったことが実現することを良く経験する。これに期待し、日頃感じていることの一部を述べてみたい。

1. 熔融樹脂品質安定

成形中の熔融樹脂にばらつきがあると感ずることがある。可塑化中にスクリー有効長が変化し（変化しないプリプラ方式の成形機もあるが）、サイクルに応じて回転停止が繰り返されるので、ここに疑念を抱くのは当然だ。この点は押出成形と大きく異なる。

世の中にはいろいろな試みをする人がいて、押出成形並みの連続運転を実現している例が報告されている。例えば金型を多数設けておき、次々熔融樹脂を供給するようになれば連続可塑化は達成できる。

2. キャビティ直接制御

電動化により射出速度も保圧力も非常に細かく正確に設定できるようになった。しかし、これは「成形機」に対する「指示」であって、キャビティ内樹脂が設定どおりになっているわけではない。成形パターンはスクリーの根元に指示される。スクリーの先にはシリンダー、逆止弁、ノズル、ランナーそしてゲートが待っている。これらを通るときの流動抵抗や温度変化の影響を受け、キャビティは全く違った状態になっている。伝搬経路が長いのでバラツキリスクも大きい。

最近、サーボモーター駆動のバルブ式ホットランナーが売り出されている。この方式を適用す

ればゲートでキャビティ内への樹脂流入量や圧力を制御でき、キャビティ直接指示の可能性がある。

3. 流動／固化分離

射出時、熔融樹脂は低温のランナー、キャビティを表面が固まりながら流れる。これが外観などの不良原因になっている。充填中は固化せず、安定して充填することは出来ないものだろうか。これをキャビティで実現したのが加熱冷却金型だ。ランナーにも適用すれば充填工程を安定化出来る。ランナー流動時のみを固化防止したいのならホットランナーを活用すればこの問題は軽減できる。

加熱冷却金型は転写性改良を、ホットランナーはランナロス削減を目指した技術だが、射出中の「流動と固化の競争過程」に起因する様々な問題の対策ツールとしても活用できる。

4. 実現に向けて

これまで述べてきたように、今私が描いている射出成形の姿は「連続可塑化によって熔融樹脂が押出成形並みに安定させ、これをそのまま金型に充填し、ゲートでキャビティごとに直接制御」することだ。

話していると、夢話だと笑われたり、いろいろな難しさを指摘されたりする。ご指摘は間違っていないので素直に聞き、これを織り込んだ姿をさらに考えるようにしている。大切なことは思い続けること、そして具体化する方策を探し続けることだと思う。

(参考文献)

(1) J.S. Hyatt, USP133229

(2) 佐藤功、私の射出成形技術(2)、

プラスチックスタイムスNo.106(2019.3),P4

— Plastic 豊かな未来をひらく —



⊕ 太平株式会社

TAIHEI Co., Ltd.

〒939-1690 富山県南砺市福光737
TEL(0763)52-1136
FAX(0763)52-6116

TAKAGI SEIKO

革新を続けるプラスチック創造企業

株式会社 タカギセイコー

代表取締役社長 高木 章裕

本社／富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522(代)

ミャンマー

ー大きく始動する日緬ビジネスと直接投資ー

日本貿易振興機構（ジェトロ）

富山貿易情報センター 所長 高村 大輔 氏

【ミャンマーの政治経済】

独立から軍政時代まで

ミャンマーが、英国統治から独立したのは1948年。当時はコメ輸出大国であり、東南アジアで最も豊かな国として繁栄した。しかし、1962年からのビルマ式社会主義体制のもと、極端な国有化政策や鎖国政策により経済は破綻。1987年には、国連により後発開発途上国に認定された。

1988年に発足した軍政は、外国投資法を制定するなど対外開放政策に転換。90年代半ばに、外国投資流入の動きが一時期はあった。しかし、90年代後半より、アウンサンスーチー氏の再度自宅軟禁に端を発した欧米諸国による経済制裁強化や国際援助の停止、またそれに起因する外貨不足により、経済は再び停滞した。この間、エネルギーや資源開発等の大型開発案件のパートナーは、政府と関係の近い中国、タイ、香港等に限られていた。

民生移管後から今日まで

2011年3月の非軍事政権発足により、ミャンマーは民主化に大きく変針。また、ミツソン・ダム建設の中国との共同開発凍結が象徴するように中国偏重を解消し、欧米諸国を含む諸外国からの支援受入れを進めた。2012年に外国投資法、2014年に経済特区法を制定するなど外国企業誘致にも取組み、同政権下では毎年7～8%の経済成長を達成した。2014年、ミャンマーは前回辞退したASEAN議長国に就任。ミャンマーの政治経済は後戻りしないと国際社会が認めた証でもあった。

2016年3月に、国民民主連盟（NLD）による新政権が発足。アウンサンスーチー氏が国家最高顧問、外相、大統領府相を兼務し、国内経済改革をさらに加速。同年、米国は経済制裁を全面的に解除。翌2017年に、日本企業は過去最大の対緬投資を行うこととなった。

【日本企業による直接投資の動向】

日本からミャンマーへの2017年度の直接投資は、過去最高の14億7,800万ドルに達した。セメント製造や内需向け生活用品製造、大規模不動産開発で、複数の大規模投資案件があったことが投資額を押し上げた。

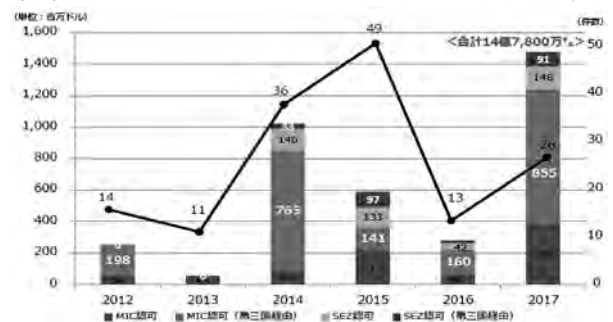
(表) 日系企業による主な直接投資案件 (2017年4月～2018年3月)

業種	企業名	時期	投資額	概要
不動産	フジタ、東京建物、海外交通・都市開発事業支援機構	2017年8月	約1億5,080万ドル	現地財閥大手のAyeyar Hinthar と共同でプロジェクト会社を設立。ヤンゴン市中心部にて商業施設やホテルを含めた大規模複合再開発事業を開始。
食品加工	オカムラ食品工業	2017年9月	n.a.	独资。アジア地域を中心とした水産加工品の需要拡大を見込み、ティラワSEZにてサーモンを主とした寿司ネタ加工を開始。
鉄鋼	JFEスチール、JFE商事、伊藤忠丸紅鉄鋼、阪和興業	2017年10月	約8,500万ドル	シンガポールのMERANTI 社と合弁会社を設立。ティラワSEZ にて溶融亜鉛めっきカラー鋼板の生産を開始。
運輸	上組、三菱商事	2017年12月	約6,500万ドル	上組が、三菱商事と現地企業の合弁であるルピア社と合弁会社を設立。ティラワ港での穀物・飼料などバルクターミナル事業を開始。
コンテンツ	クールジャパン機構、日本国際放送、海外通信・放送・郵便事業支援機構	2018年3月	約1,600万ドル	現地財閥大手のShwe Than Lwin グループとの合弁会社を設立。日本コンテンツの発信事業を開始。

〔出所〕 各種発表および報道などからジェトロ作成

なお、この数字は、ミャンマー投資企業管理局（DICA）がミャンマー投資委員会（MIC）認可額を基に公表した日本からの直接投資額及び第三国経由投資額に、ティラワ

(図) 日系企業によるミャンマーへの実質投資額の推移



〔出所〕 DICA 資料等を基にジェトロ作成



TOYOKAKO
優れた技術と確かな品質でお応えします。

東洋化工株式会社
取締役社長 中田 守人

〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地
TEL (076) 475-2125 FAX (076) 475-9471

Connect to the Future

TOYOX®

株式会社トヨックス 〒938-8585 富山県黒部市前沢 4371
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245
URL : <https://www.toyox.co.jp>

経済特区 (SEZ) への直接・第三国経由投資額を加えたものである。第三国経由は、主に日系企業のシンガポール地域統括拠点からの投資であり、地理的近接性や税制面での優位性を反映した動きである。また、経済特区への投資が多いのも日本の直接投資の特徴の1つだ。

今後更なる事業拡大に意欲

ミャンマー日本商工会議所 (JCCM) の会員企業数も393社 (2019年6月末) と、2011年の53社から7倍以上の規模に拡大した。部会別では、建設118会員、流通・サービス95会員、工業91会員の順で多く、運輸、貿易、金融保険を含め全部会で会員数が増加している。

2018年にジェットロが実施したアジア・オセアニア進出日系企業へのアンケート調査によると、今後1~2年間の事業展開の方向性について「拡大」と回答した企業の割合は、ミャンマーについては72.1%でASEAN域内では唯一7割を超える結果となった。また、過去1年または今後1年で現地従業員が「増加」または「増加見込み」と回答した割合は、全調査対象国・地域のなかでミャンマーがともに第1位であり、日系企業による力強い事業拡大意欲がみられる。

【堅実に進む投資環境の整備】

ティラワSEZはヤンゴン中心市街地から23キロ東南に位置する。日本の全面協力により開発され、2015年9月にZone-A (405ha)、2018年7月にZone-B第1期 (101ha) が開業。現在も開発が進む。SEZでは電力、給排水、通信等のインフラ整備に加えて、人材紹介や行政手続き相談サービスを受けられる。2019年7月時点で107社が予約契約締結済みで、うち41社が輸出志向型、65社が国内市場型である (注:1社はどちらにも非該当)。ミャンマーでは衣類や履物といった縫製業を中心に労働集約型の委託加工ビジネス (ミャンマーではCMP (Cutting, Making and Packing) と呼称される) が盛んで、この形態による最大の輸出先国は日本である。然しながら、輸出志向型企業を上回る日本企業がミャンマーの国内需要を期待して進出している。

法令等の制定も進む。2018年度には、5月に卸売及び小売業の規制緩和 (100%外資による投資を認めるもの)、8月に新会社法の施行 (外資比率35%以下の企業は内資企業として取り扱われるもの)、10月に日本人観光客等へのビザ免除開始 (但し1年間の試行)、1月に保険市場の外資開放があった。卸売りの1号案件はマイケア・ユニ・チャーム (100%日系資本)、小売りの1号案件はイオンオレンジ (内国資本との合弁会社) で、ともに日系企業であった。今後、消費財、食品、電化製品、化学製品など幅広い品目の卸売りやスーパー等による小売り分野への日系企業の進出が期待される。

【今後の課題】

前述のアンケート調査では、2018年の営業利益見込みを「黒字」と回答した割合は34.8%、逆に「赤字」と回答した企業は44.1%であった。業歴が浅い企業が多いことが主な要因と考えられる。また、他の設問に対する回答から、以下のような経営上の課題がみとれる。

(1) インフラや法制度の整備が急務

「インフラの未整備」(78.4%)、「法制度の未整備・不透明な運用」(61.2%)の2項目において、対象15か国で最大の割合となった。後者については、輸入ライセンスの取得が必要な品目が4,818品目あり、輸送機器や有機化学品、魚介類、一般機械など進出日系企業にとって輸入ニーズが高い品目が多く含まれている。また、929平方メートル未満の小規模小売業については、今も外資参入が規制されている。

(2) 管理職層の人材難

賃金水準は低いが、軍政下で企業活動が制限されていたため、一定のスキルを有する即戦力人材が不足。製造業・マネージャークラスでは、インドネシア、フィリピン、ベトナムよりも年間実負担額が高い。

(3) 為替相場の動向に注視が必要

2018年下半期に、チャットは対ドルで2割減価した。製造業における原材料等の現地調達率が低いため、収益圧迫要因となる。

【最後に】

ミャンマーは、世界人口の約4割を有する5つの国と国境を接し、ベンガル湾へのゲートウェーでもある。労働人口比率は62.5%であり、2050年頃まで人口ボーナス期が続く。天然ガスの埋蔵量は11兆8,000億立方フィート (世界34位) で、ミャンマー輸出額の約4割相当をタイや中国向けに輸出している。日本語能力試験の受験者数はタイを抜いてASEAN第2位。高いポテンシャルを感じずにはいられない。

2018年10月8日、ジェットロは「ミャンマー・投資カンファレンス」を東京で開催した。初めてお迎えしたアウンサンスーチー国家最高顧問は、日本からのさらなる投資誘致のためにも、国内のビジネス環境整備に今後最優先で取り組んでいく方針を明確に示した。今後の動向に注目したい。

【参考文献】

日本貿易振興機構 (ジェットロ) 出版・公表資料
「ミャンマー経済の基礎知識」(2017年8月 水谷俊博 堀間洋平編)
「2018年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」
「世界貿易投資報告2018年版」
「国・地域別情報 (ミャンマー)」
<https://www.jetro.go.jp/world/asia/mm/>
- ビジネス短信 (2019年5月10日 田原隆秀)
- 地域・分析レポート
(2019年3月15日 竹内直生、2019年4月26日・6月26日 下田聡)

労務研修会

●平成30年度 第3回労務研修会

2月13日(水)、平成30年度の第3回労務研修会を16社から17名の参加にて開催しました。

片境先生からは、2019年4月施行(中小企業の適用は2020年4月)される「時間外労働の上限規制」と、同様に2019年4月施行される「1人1年あたり年5日の年次有給休暇の確実な取得の義務化」の内容について、大変わかりやすく説明されました。

演 題 「働き方改革と労働基準法改正」

講 師 社会保険労務士法人片境事務所 代表社員 片境 一暎氏



★受講感想 (株)横山製作所 角 昌計

「働き方改革と労働基準法改正」の研修会に参加し、「年5日の有給休暇」や「時間外労働の上限規制」について学びました。

年間5日の年次有給休暇の確実な取得の義務付けでは、36協定や管理簿、起算日などの説明があり、また、時間外労働の上限規制では、上限時間の計算変更点の解りやすい解説など今後の労務対応に生きる研修会でした。今後も労務研修会に参加し働きやすい職場を目指します。



●2019年度 第1回労務研修会

6月11日(火)、今年度の第1回労務研修会を17社18名の参加にて開催しました。

片境先生からは、「有給・欠勤・遅刻等の給与計算における基礎知識」として、「年次有給休暇の給与(年間5日取得させることが義務化)」、「入社時・退職時・欠勤・遅刻・早退等の日割り・時間割りの減額計算各種計算方法」の内容について、詳しい解説や各種計算方法を説明していただきました。

演 題 「有給・欠勤・遅刻等の給与計算における基礎知識」

講 師 社会保険労務士法人片境事務所 代表社員 片境 一暎氏



★受講感想 (株)碓井製作所 平垣 麻里奈

今回の労務研修会は、給与計算における基礎知識ということで、有給・欠勤・遅刻等の賃金計算方法など実務に沿った内容について、例を用いて大変解りやすく説明して頂きました。

給与計算業務では、様々なケースに応じた賃金計算を適切に行う必要がありますので、今回の研修を参考にさせて頂き、正しい知識を持って今後の業務に取り組んでいきたいと思えます。



経営セミナー

7月16日(火)に呉羽ハイツにて「経営セミナー」を開催いたしました。

50名近い多数の参加者で、会場はほぼ満席となりました。

第1部の講演では、ファインプラス(株)の三宮社長から「弊社のグローバル展開について」の演題で、海外展開された経緯や、現在の状況等について詳しくお話しいただきました。

第2部の講演では、(株)齊藤製作所の齊藤社長から「会社と理念と働き方」の演題で、BGM入りのパワーポイントを駆使され、会場への問い掛けもされながら、会社の理念について熱く語っていただきました。

【第1部講演】14:30～15:30

演題 「弊社のグローバル展開について」

講師 ファインプラス株式会社

代表取締役社長 三宮 悟治郎氏

【第2部講演】15:30～16:30

演題 「会社と理念と働き方」

講師 株式会社齊藤製作所

代表取締役社長 齊藤 行男氏



三宮講師



齊藤講師

研修講習事業

■前期レベルアップ研修会

と き：平成31年4月9日(火)～26日(金)

ところ：ポリテクセンター富山

参加者：31名



 阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山市小中163番地
TEL(076)429-1865
FAX(076)429-6042
URL <https://www.hanshin-group.co.jp>

未来への限りない挑戦

プラスチックの総合メーカー



ミユキ化成株式会社

代表取締役社長 延澤 泰明

〒939-0351 富山県射水市戸破針原53-14
TEL(0766)56-9500(代) FAX(0766)56-9495
URL：<http://www.miyuki-kasei.co.jp/>



Richell

暮らしに笑顔を咲かせます。

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592
TEL(076)478-2155 <http://www.richell.co.jp>

園芸用品・ペット用品・ベビー用品・ライフケア用品・家庭用品・業務用品・
環境エコ用品・エクステリア用品・バイオ関連用品等の製造販売

(広告は、企業名の50音順で掲載しています)

先進企業視察研修会

視察先：(1)株式会社エイト (2)NiKKi Fron株式会社

6月27日(木)、長野県内2社の企業視察を実施しました。

両社とも、企業概要説明と工場見学、製品サンプルの説明等を丁寧にしていただきました。また、コア事業を大切に継続しながらも、新たな事業展開や他社にはできなかった難題へ積極的に挑戦されているなど、参考になるところが多かったかと思えます。参加者は、熱心に質問をし、メモをとられ有意義な視察研修になりました。



株エイト前にて



NiKKi Fron(株)前にて

★視察感想

◇「株式会社エイトを視察して」(株)リッチェル 土田 和哉

今回、「先進企業視察研修会」において株式会社エイト様を訪問しました。

エイト様は「成形事業部」「金型事業部」「自動化システム事業部」「OSCコーヒー販売事業部」からなっており、なかでも金型事業部は私自身が金型設計を行っていることもあり、大変興味深くお話を伺いました。

- ・過去に無かったものや誰もできなかったことに挑戦すること
- ・現場主義に徹しあきらめずにやり遂げること

これらによって顧客の信頼を得られ、業績につながっていると感じました。

今回の視察で得られたことを今後活かして生きたいと思えます。

★視察感想

◇「Nikki Fron株式会社を視察して」(株)タカギセイコー 瀧田 諭

今回、先進企業視察研修会において、NiKKi Fron(株)様を訪問しました。

120年を越す歴史を有する同社では、フッ素樹脂製品の製造やFRPを用いたクラッチフェーシングの製造、射出成形機の組立製造を手掛けられています。

工程の自動化や最適化など高効率な製造工程作りや最先端の製造技術開発に取り組まれており、春日社長の「グローバルな競争力を生み出すイノベーションへの挑戦」という言葉に強烈な印象を受けました。

今回、本視察研修会で得られたことや感じたことを、日々の業務に活かしていきたいと思えます。

講習事業

■射出成形実技講習

と き：2019年5月9日(木)～6月13日(木)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏 山村 登氏

受講者：1級36名 2級68名



射出成形実技講習

■射出成形学科講習

と き：2019年7月27日(土)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏

受講者：1級18名 2級41名



射出成形学科講習

業界功労表彰・優良従業員表彰

5月27日(月)に富山第一ホテルにて表彰式が開催され、業界功労表彰者は当工業会で検定委員、各委員を永年に亘り務めていただいた11名の方々、優良従業員表彰者は会員企業から推薦された21名の方々が表彰されました。

表彰式では八十島会長より永年に亘る当工業会や、各会員企業での貢献への労いと、今後の更なる活躍を期待する挨拶があり、来賓を代表して(公財)富山県新世紀産業機構 島崎 慎一専務理事より温かい祝辞をいただきました。

表彰された方々は、本当におめでとうございます。

■業界功労表彰者

氏名	企業名
高見 賢喜	ファインプラス(株)
石黒 昇	三協化成(株)
金井 克雅	(株)トヨックス
川枝 照純	(株)トヨックス
木田 博之	丸和ケミカル(株)
芝田 亮	三協化成(株)
砂子 和宏	ファインプラス(株)
高越 登	高岡明光化成(株)
秀永 智彰	ビニフレーム工業(株)
室宮 丈雄	三協化成(株)
吉野 一至	ルミポップ(株)

■優良従業員表彰者

氏名	企業名
池田 寛史	(株)コージン
石坂 晶子	ファインプラス(株)
上田 明美	(株)碓井製作所
上田 徹	三協化成(株)
宇野由美子	三光合成(株)
江尻 悟美	ミユキ化成(株)
大山 恵子	阪神化成工業(株)
奥野 浩一	(株)斉藤製作所
音澤 健	(株)リッチェル
紺谷 隆	三光合成(株)
塩田 久人	小林製薬ブラックス(株)
砂子 哲也	(株)コージン
帯刀みゆき	ミユキ化成(株)
中居 昭二	(株)タカギセイコー
中島 玲子	テクノプラス(株)
能島 寛典	(株)トヨックス
能登 博樹	(株)トヨックス
野村 進一	五栄化学工業(株)
廣澤 一興	三光合成(株)
藤川 寿子	(株)大樹
安井 直樹	阪神化成工業(株)



島崎専務理事



八十島会長より表彰状授与

懇親ボウリング大会

今年度も総務委員会厚生事業として、6月8日(土)にクアトロブーム小杉にて懇親ボウリング大会を開催しました。会員企業8社から15チーム60名の男女が参加されました。

厚生事業担当委員から、大会運営のルール説明があり、開始の合図と同時に、各レーンで熱い戦い(?)が始まりました。ストライクやスペアでは、ガッツポーズが出たり仲間とハイタッチをして、ミスをしたら苦笑いなど、会場は終始賑やかな中ゲームが進みました。当日に初めてボウリングをした外国人チームや、社長や上司の心強い応援があったチーム、同じ会社のチームでもライバル同士であったり、各チーム様々な状況で2ゲームを競いました。

成績は、団体優勝が「(株)タカギセイコーのタカギセイコー新湊」、個人優勝が「(株)リッチェルの碓井智博さん」となりました。

■団体の部 (1チーム4名 計8ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	タカギセイコー新湊	(株)タカギセイコー
準優勝	氷見イエローテイル	(株)タカギセイコー
3位	シロウマ美	シロウマサイエンス(株)
飛賞(5位)	シロウマA	シロウマサイエンス(株)
飛賞(10位)	三光合成 富山工場	三光合成(株)
飛賞(15位)	小林製薬	小林製薬ブラックス(株)



団体の部優勝
(株)タカギセイコー タカギセイコー新湊



個人の部優勝
(株)リッチェル 碓井 智博さん
個人の部第3位
(株)タカギセイコー 神島 慎哉さん 個人の部準優勝
(株)タカギセイコー 高田 正彦さん

■個人の部 (2ゲーム)

	氏名	企業名
優勝	碓井 智博	(株)リッチェル
準優勝	高田 正彦	(株)タカギセイコー
3位	神島 慎哉	(株)タカギセイコー

技術と知識の向上に努め 豊かな暮らしの実現に貢献します

五栄化学工業株式会社



工場全景 (社名ロゴは中川一政画伯筆)

代表取締役 濱谷 一夫

〒934-0001 射水市庄西町1丁目2-50

TEL (0766) 84-6111

FAX (0766) 84-6000

当社について

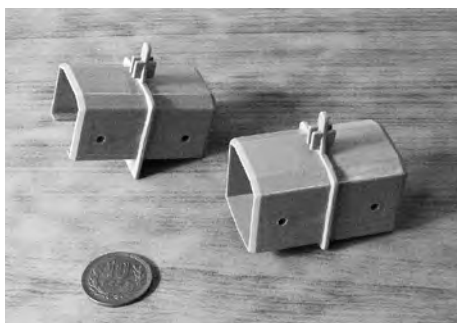
当社は、1961年4月5日に創業し、三協アルミニウム工業株式会社の外注工場として硬化性樹脂部品（日用品の取手等）を作っておりました。

1980年代に入り得意先の業態変化（日用品からアルミ建材）に伴い、当社も樹脂部品からアルミ部品へと徐々に軸足を移すこととなりました。

21世紀に入り得意先の日用品からの完全撤退により当社もアルミ加工業に生まれ変わることとなり、現在に至ります。但し、元樹脂メーカーの意地として、可塑性樹脂のインジェクション成形機を導入しアルミ製であったフェンスのジョイント部分を樹脂に置き換えた部品を月10万個程度生産しております。



当社唯一の成形品



矢印部分が当社部品



～ 商品の気持ちを大切に包む ～



代表取締役 島田俊晴

〒939-8055 富山県富山市下堀12番地1
TEL (076) 425-0734 FAX (076) 425-4040

当社について

当社は昭和33年に島田樹脂工業所として創業し、主にポリエチレン樹脂の製袋加工、販売をしておりました。昭和50年4月に現組織へ変更して以来、ポリエチレン樹脂のみならず、複合・高機能フィルム等の包装資材や梱包資材・物流機器の販売を行い、お客様からの多様なニーズに対応し、地域に貢献出来る様、日々務めております。

当社の主な事業内容

- ポリエチレン袋、複合・高機能フィルムの販売
- 樹脂パレット・樹脂コンテナ、プラスチック段ボール、シールラベル等の物流梱包資材の販売
- 物流包装機器の販売



当社の取り組み

近年、お客様からの高い品質要求に応えるべく、クリーンルームで製袋加工した高機能なポリエチレン袋の販売を展開しており、特に製薬・化学業界のお客様にご利用を頂いております。また、遮光性やガスバリア性の高い複合（ラミネート）フィルムも工業・食品業界などの多くのお客様にご利用を頂いており、継続して拡販に注力しております。

社内におきましては、従業員の健康管理や健康づくりを推進する「健康経営」に取り組みながら生産性の向上を図っております。

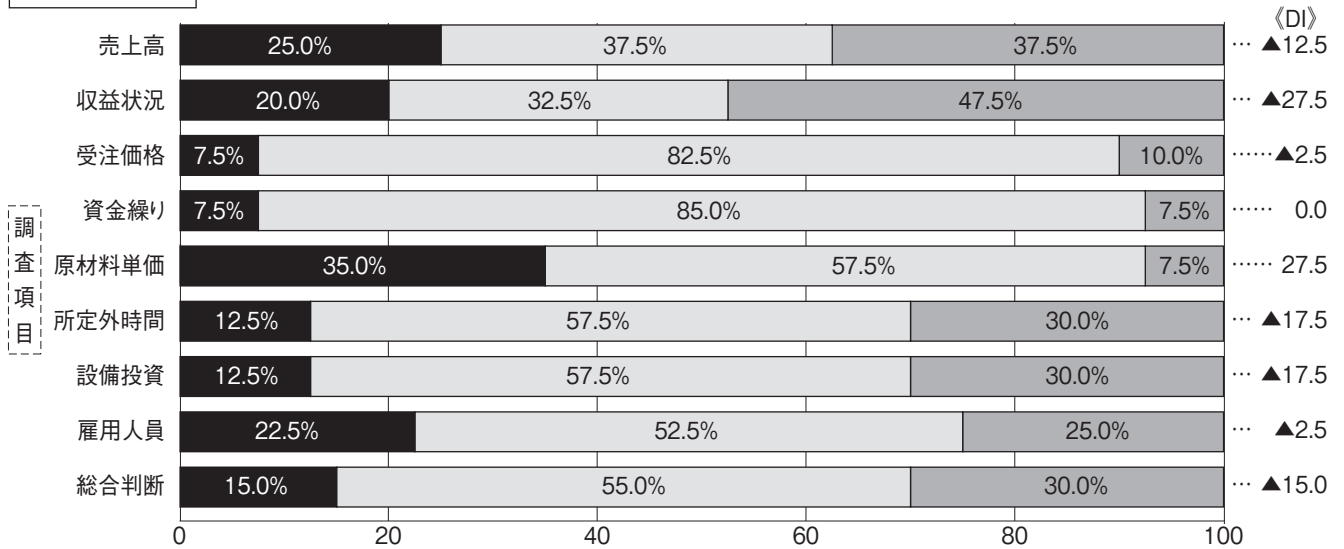
私たち株式会社島田樹脂は、“包装資材のトータルプランナー”として、お客様に喜んでご使用頂ける商品や時流の変化の速さに応じた商品をいかにして提供出来るかを常に考えており、今後も社員一丸となって鋭意努力してゆく所存でございます。

会員企業による景況調査

最近の実績

2019年4月～2019年6月/前年同期比

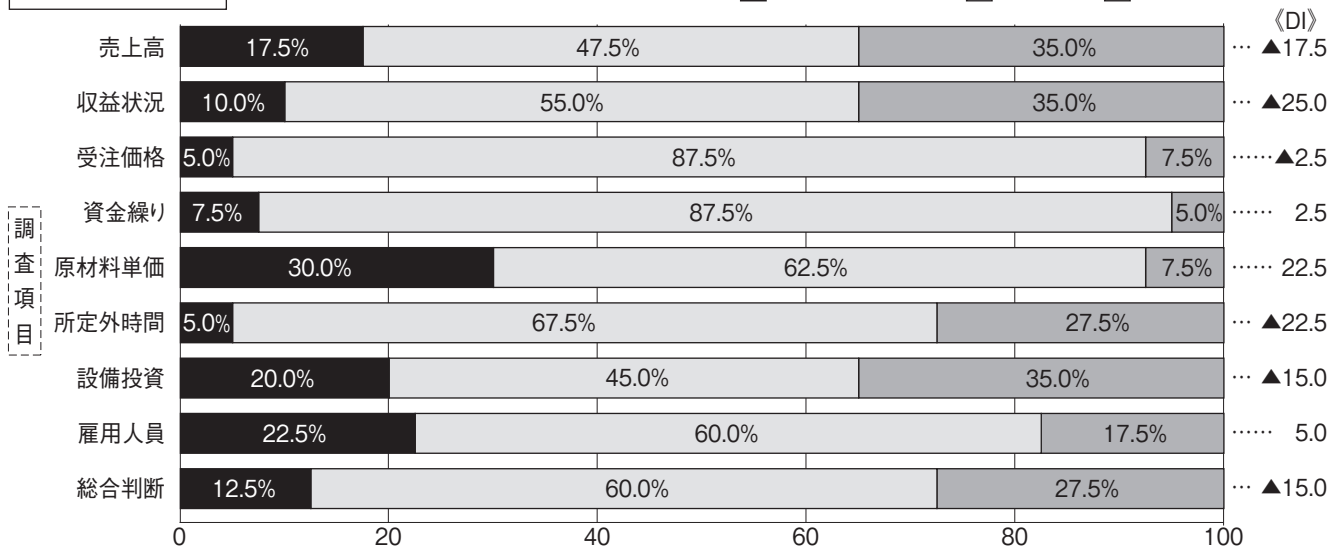
■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



今後の見込み

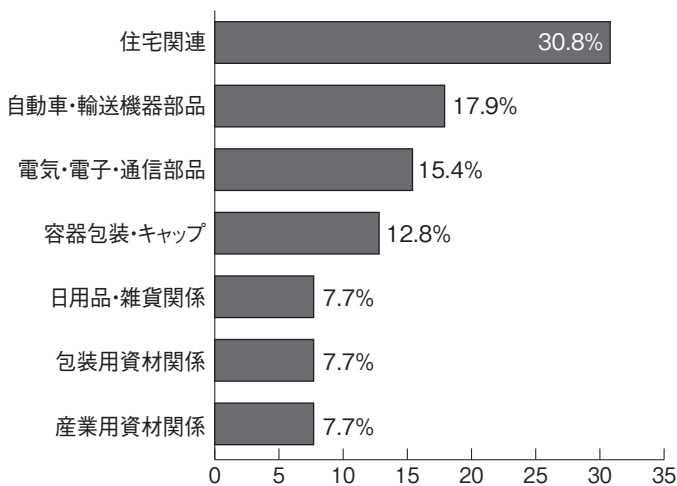
2019年7月～2019年9月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



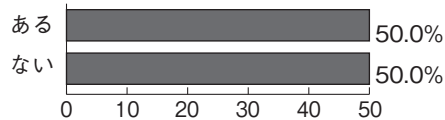
(39社回答)

[1] 売上(取扱い)商品の中で最もウエイトが高いのは?

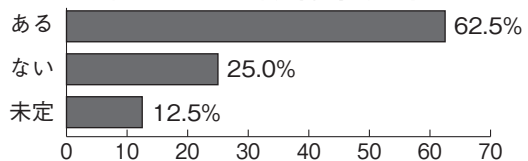


[2] 雇用について

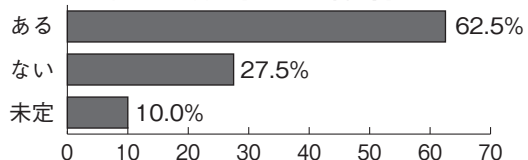
●2019年4月の新規学卒者入社実績



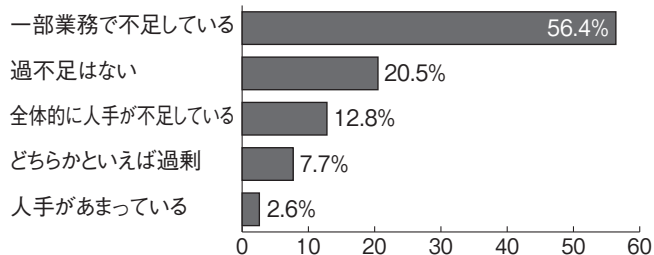
●2019年4月～9月の中途採用実績・予定



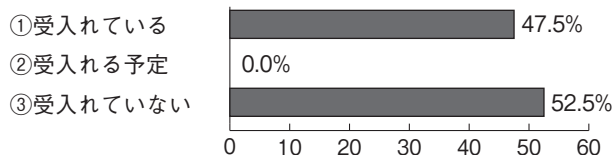
●2020年4月の新規学卒者の採用予定



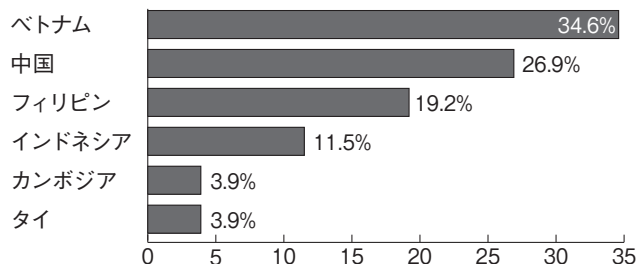
[3] 現在、貴社の人員の充足感について



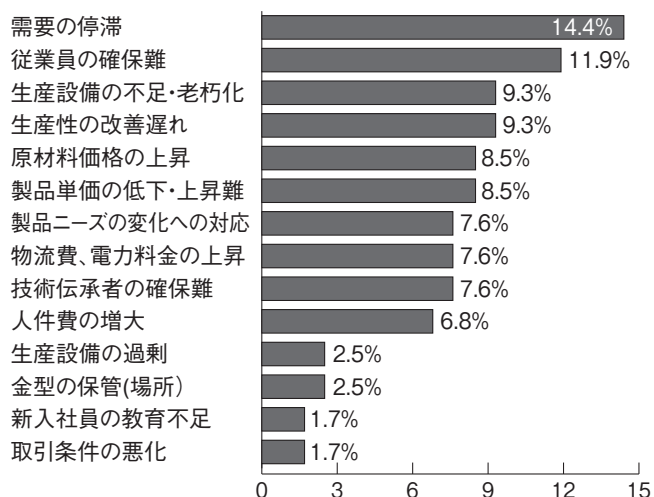
[4] 新しい法律の施行に伴い、外国人実習生の受入れについて



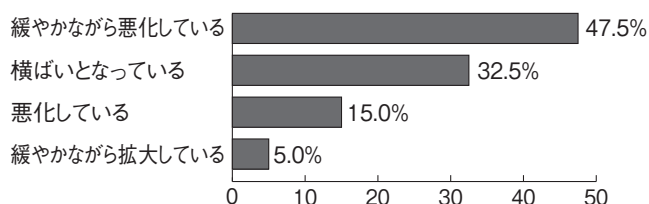
[5] 問[4]の①又は②の出身地は？



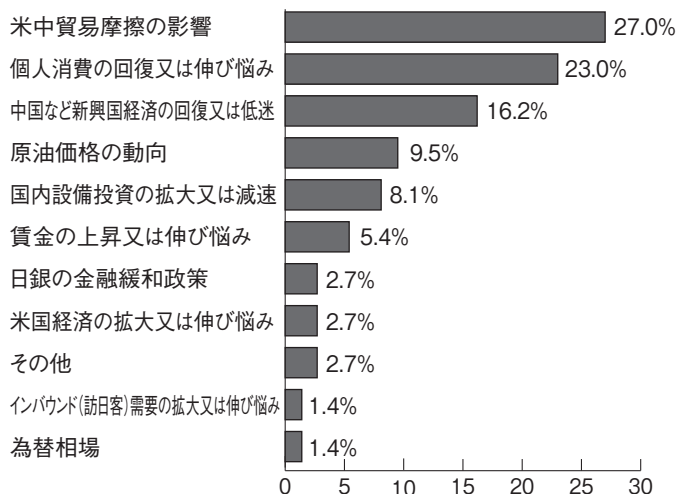
[6] 今季直面している経営上の問題点について



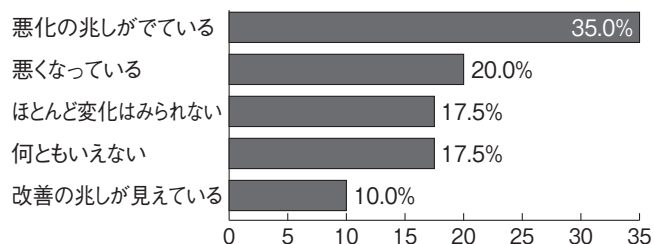
[7] 現在の国内景気をどのように認識されてますか？ (前回の調査：2019年1月、2月と比較して)



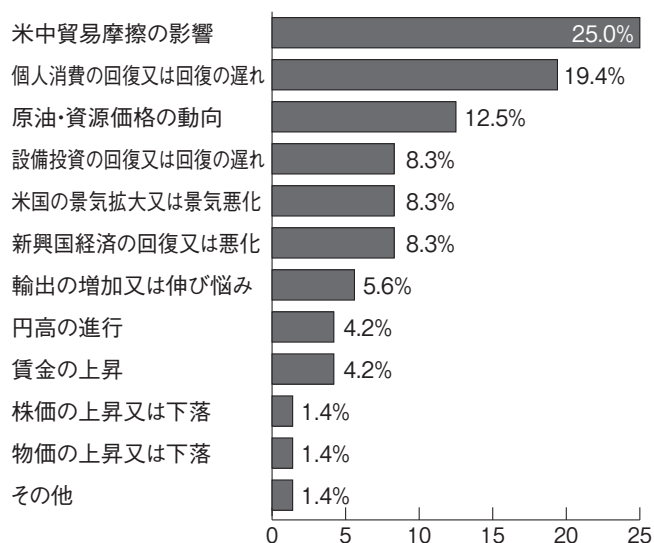
[8] 問[7]のそれぞれの要因について



[9] 今後の国内景気は、現在と比較して どうなるとお考えですか？(2019年9月頃)



[10] 問[9]のそれぞれの要因について



プラスチック関連データ

■加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機			ブロー成形機		
			計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置	本体		
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339	865	10,394	620	17,838
H27	14,434	206,261	12,471	156,333	3,777	25,016	4,871	45,397	3,058	46,587	765	39,333	453	20,187	966	11,797	544	17,944
H28	13,650	196,557	11,702	141,377	3,697	23,898	4,418	39,287	2,841	41,733	746	36,459	411	23,606	887	10,658	650	20,916
H29	16,508	217,490	14,353	161,943	5,092	31,904	5,536	48,749	2,843	41,056	882	40,234	513	17,644	995	16,677	647	21,226
H30	17,031	222,194	14,950	173,817	5,409	35,315	5,506	49,008	3,248	47,091	787	42,403	500	16,213	916	12,965	665	19,199
H30.1.1月	1,523	18,904	1,354	16,080	439	2,919	541	4,831	297	4,378	77	3,952	37	926	90	720	42	1,178
前年同月比%	102.6	104.1	107.1	117.7	93.2	101.9	111.1	107.0	119.3	124.4	135.1	143.3	71.2	116.3	69.2	39.9	110.5	61.9
H30.1.2月	1,316	17,261	1,198	14,999	388	2,650	431	3,862	306	4,552	73	3,935	29	556	38	370	51	1,336
前年同月比%	92.3	93.1	96.8	104.8	80.5	87.4	103.1	108.4	116.8	112.1	97.3	107.7	52.7	28.4	42.7	33.9	113.3	113.7
H31.1.1月	1,283	16,748	1,136	14,112	398	2,552	434	4,252	237	3,391	67	3,917	43	1,033	73	764	31	839
前年同月比%	98.6	105.1	98.3	118.4	94.3	98.0	100.5	113.9	91.9	99.0	152.3	181.8	102.4	53.7	123.7	118.1	70.5	57.8
H31.2.1月	1,319	19,259	1,160	14,266	384	2,511	435	4,046	281	4,150	60	3,559	50	1,639	64	1,438	45	1,916
前年同月比%	97.3	101.8	99.0	107.6	88.7	93.3	98.0	111.2	122.7	127.7	90.9	96.6	135.1	113.8	82.1	57.8	66.2	110.4
H31.3.1月	1,461	22,203	1,218	14,889	387	2,677	459	4,281	308	4,418	64	3,513	66	3,855	126	1,996	51	1,463
前年同月比%	90.9	91.8	88.7	86.2	84.7	87.4	88.3	88.7	97.2	94.6	81.0	74.6	104.8	124.0	115.6	113.7	81.0	71.8
H31.4.1月	1,309	18,331	1,059	12,647	379	2,593	361	3,383	246	3,405	73	3,266	49	3,360	167	868	34	1,456
前年同月比%	92.8	111.6	83.3	92.2	82.0	82.2	76.2	79.5	86.0	76.3	146.0	177.6	175.0	490.5	283.1	146.4	66.7	102.2
R1.5.1月	1,211	16,186	1,061	11,948	405	2,503	335	3,039	269	3,840	52	2,566	44	2,303	69	637	37	1,298
前年同月比%	88.0	87.5	88.9	83.1	87.7	84.8	84.6	83.5	103.1	100.6	70.3	64.7	102.3	276.1	83.1	36.5	64.9	83.5

■原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PBT樹脂	その他樹脂
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567	150,293	1,476,748	303,813	115,658	174,126	1,451,856
H27	10,798,776	278,253	2,609,408	1,210,479	2,500,500	152,997	1,646,112	294,449	100,108	188,565	1,386,817
H28	10,715,345	288,578	2,568,979	1,183,264	2,466,311	144,949	1,650,883	292,520	104,181	171,368	1,425,942
H29	10,560,134	301,939	2,654,815	1,240,813	2,505,540	154,919	1,705,921	310,179	115,184	110,121	1,460,703
H30	10,241,761	302,164	2,466,620	1,236,915	2,357,807	151,603	1,690,288	320,793	119,256	120,828	1,475,487
H30.1.1月	879,980	25,995	225,294	94,086	217,746	8,759	140,298	25,674	4,869	9,327	127,932
前年同月比%	99.1	96.9	94.1	92.2	111.4	75.8	98.1	90.4	108.7	113.3	99.5
H30.1.2月	918,757	24,245	209,461	110,856	232,712	11,526	157,346	25,750	11,103	9,678	126,080
前年同月比%	100.8	98.4	90.4	103.2	113.0	88.0	103.2	91.1	113.2	99.9	98.0
H31.1.1月	957,650	22,773	239,510	114,601	236,597	12,785	160,709	24,984	12,865	10,338	122,488
前年同月比%	100.0	98.0	91.9	107.4	108.4	87.9	103.1	90.3	118.9	96.4	94.6
H31.2.1月	815,623	23,462	185,907	95,073	191,950	12,546	144,698	25,629	9,836	10,264	116,258
前年同月比%	95.1	96.6	94.9	94.4	91.5	100.0	101.1	90.2	95.8	103.6	94.6
H31.3.1月	864,683	25,106	220,828	95,631	216,648	11,964	134,180	22,530	9,885	8,815	119,096
前年同月比%	100.2	94.7	112.0	95.8	99.8	83.7	104.2	80.3	86.1	93.5	91.3
H31.4.1月	823,394	23,593	197,864	103,895	192,144	12,618	133,404	24,082	9,425	10,503	115,866
前年同月比%	96.8	95.9	95.1	96.3	91.4	92.4	118.2	99.9	81.8	96.5	91.4
R1.5.1月	785,183	23,219	178,954	92,626	197,804	12,057	128,435	28,050	8,342	11,025	104,671
前年同月比%	97.3	95.6	88.3	91.5	122.9	83.6	94.3	96.2	73.2	91.8	91.5

■製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								①輸送機械部品	②電気通信部品	③その他部品		中空成形容器	その他の容器					
H26	5,708,219	2,197,776	237,113	107,571	53,058	432,057	56,839	644,768	476,051	118,570	50,147	291,262	508,908	273,139	312,066	250,646	70,481	272,535
H27	5,618,053	2,207,678	230,847	111,702	54,062	397,497	43,360	629,166	462,999	114,783	51,384	289,613	499,451	270,801	296,556	248,548	73,915	264,857
H28	5,659,988	2,237,187	219,915	113,163	56,952	387,232	44,136	645,925	483,702	112,949	49,274	298,382	485,244	298,216	293,869	251,038	73,983	254,746
H29	5,808,801	2,286,546	219,856	114,362	56,006	398,821	45,458	672,089	505,463	115,038	51,588	301,609	502,846	327,908	283,809	249,400	77,117	272,974
H30	5,883,291	2,311,711	215,415	119,513	58,439	394,465	44,892	683,616	518,568	114,134	50,914	301,071	510,028	357,973	274,138	251,866	72,080	288,084
H30.1.1月	522,853	203,655	19,149	10,975	5,325	39,252	3,947	61,054	46,672	9,907	4,475	25,285	41,258	32,873	24,652	23,182	6,500	25,746
前年同月比%	103.1	101.8	98.4	111.4	102.0	106.0	99.0	103.6	103.3	105.4	103.2	96.6	106.5	106.7	104.8	101.6	96.4	108.7
H30.1.2月	485,009	188,139	16,973	10,493	4,993	35,113	3,804	55,797	42,248	9,405	4,144	24,626	37,939	31,299	24,376	21,876	5,822	23,759
前年同月比%	101.4	100.9	98.2	109.2	102.3	100.8	94.1	99.9	99.6	102.2	97.9	98.7	101.3	107.6	105.1	103.3	90.7	104.0
H31.1.1月	446,061	171,624	17,046	9,280	4,596	32,442	3,414	54,505	41,566	8,960	3,979	22,329	34,124	27,107	22,393	19,464	5,654	22,083
前年同月比%	100.4	97.8	107.9	106.3	101.2	100.1	94.9	103.0	102.7	105.3	101.4	98.4	99.0	105.6	102.0	100.5	99.3	104.6
H31.2.1月	469,627	181,652	16,402	9,501	4,925	30,431	3,942	59,006	45,284	9,480	4,242	23,666	39,645	27,807	23,286	20,464	5,779	23,121
前年同月比%	101.0	100.1	95.0	106.8	104.2	92.9	107.6	103.4	103.9	102.3	100.5	100.8	104.2	102.4	105.3	105.8	96.1	100.8
H31.3.1月	496,454	199,227	17,092	8,651	4,946	30,473	4,400	61,942	47,781	9,830	4,331	25,101	43,314	27,520	22,959	20,816	6,322	23,691
前年同月比%	97.6	99.4	91.0	87.3	99.8	96.7	115.7	98.4	98.3	99.8	96.9	98.8	99.9	90.2	94.7	97.9	98.6	94.7
H31.4.1月	491,329	193,212	17,607	8,523	4,947	27,786	4,227	59,259	44,835	10,130	4,294	26,458	45,798	30,638	22,267	20,356	5,995	24,256
前年同月比%	99.6	97.7	94.5	84.5	102.5	100.5	108.9	106.1	107.0	104.4	101.9	97.4	102.7	106.1	93.8	97.9	103.4	102.3
R1.5.1月	465,657	182,638	16,152	8,363	4,810	29,294	3,768	55,679	42,221	9,546	3,912	22,961	45,579	27,162	20,673	19,788	5,927	22,863
前年同月比%	97.9	96.2	87.6	87.8	100.8	100.7	115.3	104.8	106.2	102.2	97.0	91.4	101.9	99.5	94.9	99.1	100.0	100.5

(経済産業省データ加工)

【会員の動き】

■代表者の変更

株式会社ユーシン精機 富山営業所
所長 中山 一成 (前:野村 明広)

■役職位の変更

株式会社タカギセイコー
代表取締役会長 八十島 清吉 (前:代表取締役社長)
ビニフレイム工業株式会社
代表取締役会長 石倉 昭裕 (前:代表取締役社長)

共創

4年に一度じゃない、一生に一度だ。- ONCE IN A LIFETIME -

(ラグビーワールドカップ2019日本大会公式キャッチコピー)

今年は、ラグビーワールドカップイヤーです!ラグビーワールドカップが強豪国以外では初めて日本で開催されます。9月20日から11月2日まで国内12か所の会場で熱戦が繰り広げられます。

2015年のイングランド大会では、日本代表が世界ランク3位の南アフリカ代表を相手にラストワンプレイで34対32と劇的に逆転勝利しました。「スポーツ史上最大の番狂わせ」と言われたこの試合をテレビで観戦された方も多いのではないのでしょうか。日本代表は、3勝を上げながらも勝ち点差で上位8チームに残れず、残念ながら準々決勝に進むことが出来ませんでした。

ラグビーには、「One for all, all for one! (一人はみんなのために、みんなは勝利のために!)」という言葉があります。自分がタックルされても体を張ってボールを活かし、トライ(得点)に繋げ、チームの勝利を掴み取る精神のことです。他のスポーツの選手も同じような気持ちで戦っていると思いますが、ラグビーでは体と体がもろにぶつかり合うので、自己犠牲を払って勝利を目指す姿が分かり易く、特にそう言われている所以だと思います。

ラグビーでは、1チーム15人の選手がフォワードとバックスというポジションに大きく別れ、フォワード、バックスには更に役割の異なるポジションがあります。企業にいろいろな役割の部署があるのと同じように、異なるポジションの選手がその役割を果たしチームの勝利を目指して戦います。ラグビーの組織を有効に機能させる考え方がビジネスにも通じると言われており、多くの指導者が組織論やコーチング等について執筆したり、講演を行ったりしています。先日、早稲田大学を学生日本一に、トップリーグのサントリーとヤマハを日本一に導いた清宮克幸日本ラグビーフットボール協会副会長が、「どうすれば人がやる気になり、目標を達成できるか」について富山で講演されたところ、多くの経営者の方が聴講されていました。

ラグビーには企業活動に通じるところがありますので「4年に一度じゃない、一生に一度だ。- ONCE IN A LIFETIME -」のラグビーワールドカップ日本大会をそんな視点から観てみるのも面白いと思います。

自国開催のワールドカップですので日本代表には、是非8強に残り準々決勝以上に駒を進めて貰いたい、と思います。

来年には、東京オリンピックが開催されます。各種目の日本代表選手の選考が進められており、スポーツファンには目の離せない日々が続きます。

編集委員 柴野 恒夫

《編集委員会》

編集委員長 門前 昌志 (阪神化成工業株)
編集委員 喜多 進 (株大樹)
〃 西村 源信 (三光合成株)
〃 柴野 恒夫 (株リッチェル)
〃 谷田 雄彦 (株タカギセイコー)
〃 島津 則雄 (株リッチェル)



富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)
〒930-0866 富山市高田529番地
TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp

編集後記

今年は、年号が平成から令和に変わり、当工業会では会長・事務局が交代する変化点の年となりました。

早いもので、この号が発刊され会員の皆様のお手元に届く頃には、季節も初秋となります。春先に事務局を交代してから、目の前の県プラ事業に追われ、あっという間に季節が移り変わって行きました。きっと、冬号の発刊時期もあっという間に来ってしまうことでしょう。

終わりに会報「とやま県プラNo.44号」を発行にあたり、原稿のご提供等、関わっていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

また、至らない点が多々あったかと思いますが、今後も県プラ事業への皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局長 篠島 (記)

表紙写真提供 青海 正和氏